

2019 年度上期 決算説明会 議事録

J F E システムズ株式会社

【決算ハイライト】

① 2019 年上期決算 (カッコ内は 2018 年上期比)

- ・ 売上高=22,279 百万円(+8.8%)、経常利益=2,028 百万円(+26.4%)
→ 売上高・経常利益ともに上期としての過去最高を更新。
※ 鉄鋼部門の売上増、新たな連結子会社の売上高の寄与。

② 2019 年度見通し (カッコ内は前回(4/24)発表の 2019 年度見通し比)

- ・ 売上高=48,000 百万円(±0.0%)、経常利益=4,000 百万円(+11.1%)
→ 好調な上期業績を受け、経常利益の見通しを上方修正。

③ 配当

- ・ 上記の経常利益の上方修正を受けて、2019 年度は前回予想 (4/24) の 90 円/株から+10 円の 100 円/株に上方修正。

④ トピックス

- ・ 基幹系業務ソリューションの自社ブランドである **SIDEROS™** (シデロス) のラインナップ拡充
→ 既存の 2 製品に関し、SAP S/4HANA1809 版をリリース。SAP の「2025 年問題」を控え、商品ラインナップの拡充を梃子に、ユーザ企業による更新需要を捕捉。
- ・ **JFE** ホールディングスが 5 年連続で「攻めの IT 経営銘柄」に選定
→ 当社は選定要素の 1 つである「制御故障復旧支援システム (J-mAIster® ジェイマイスター)」の開発を担当。
- ・ **JFE** スチール本社基幹系業務オンラインシステムのハイブリッドクラウドへの移行を当社が支援。
- ・ プロダクト事業主力 3 製品の新バージョン等を相次ぎ販売開始
→ 一例として、RPA との親和性を高めた電子帳票保存パッケージ (FiBridge® II) をリリース

【質疑応答内容】

Q1 上期決算において、対前期比では新たな連結子会社である IAF コンサルティングの売上が寄与したということだが、同社の売上・利益は対前期比で増加しているのか？

A1 IAF コンサルティングの売上高等の財務数値は非公表で、具体的な数値は申し上げられないが、売上・利益とも当初の想定を上回る実績をあげている。

Q2 IAF コンサルティングは JFE システムズの事業にどのような面で寄与できるのか？

A2 ビジネスインテリジェンス事業において、当社と同社のシナジーが期待できると考えている。現在、共同受注・販売といった具体的な施策を検討している。

Q3 JFE スチールの製鉄所システムリフレッシュプロジェクトの進捗について、昨今の台風被害の復旧対応で、IT 投資予算が製鉄設備の更新予算に振り替えられるなどの影響はあるのか？

A3 JFE スチールは台風被害だけでなく、現在、経営環境が厳しいことは事実だが、一方で IT 業界でも所謂 2025 年の崖が予想されており、JFE スチール・当社ともにプロジェクトを先延ばしにできる環境ではないという認識を共有しているので、その点は心配していない。

以 上